実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
福岡市	能古地区	令和4年3月30日	令和6年3月29日

1　対象地区の現状

①地区内の耕地面積	50ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	35ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	18ha
ⅰ うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0ha
ⅱ うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	17ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha

（備考）

・博多湾に位置し、甘夏・日向夏などの柑橘を中心とした農業が営まれているほか、平地では、水稲・野菜の生産も行われている。

2　対象地区の課題

・農家の高齢化が進み、柑橘生産の現状維持がいっぱいで、拡大は困難
・高齢化により直売所出荷者が減少
・有害鳥獣被害の拡大（特にイノシシ）
・遊休農地の増加
・渡船費用等の負担

3　対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

・中心経営体に農地を集約する。

・島内に移住する新規就農者に柑橘栽培を継承する。

4　３の方針を実現するために必要な取り組みに関する方針

・若手農家で構成する「のこOne Stepﾌｧｰﾑ」の活動を支援する。
・果樹生産の振興と加工品開発の取組みを支援するとともに、新規就農者確保に向けた取組みを進める。
・鳥獣被害が発生しているため、引き続きその対策を進める。
・渡船場の直売所を活用し、農業所得の向上を図る。

（参考）農地の貸し付け等の意向

	農地の所在（地番）	貸付け等の区分（㎡）		
		貸付	作業委託	売渡
1	能古	267		
2	能古	204		
3	能古			286
4	能古			651
5	能古			766
6				
7				
	計	471	0	1,703

（参考）中心経営体

属性	現状		今後の農地の引き受け意向		
	経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	果樹類	2.8ha	果樹類	2.8ha	能古
認農法	施設野菜	0.1ha		0.1ha	能古
安経	果樹類	3.0ha	果樹類	3.0ha	能古
安経	果樹類	1.4ha	果樹類	1.4ha	能古
安経	果樹類、露地野菜	0.5ha	果樹類、露地野菜	0.5ha	能古
安経	果樹類	5.0ha	果樹類	5.0ha	能古
安経	野菜類	0.7ha	野菜類	0.7ha	能古
計		13.4ha		13.4ha	

注）属性欄の「認農」は個人の認定農業者、「認農法」は法人の認定農業者、「認就」は認定新規就農者、「安経」は安定的な農業経営者、「受組」は受託組織を示しています。